



## 2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月11日

上場会社名 株式会社 リンガーハット 上場取引所 東 福  
 コード番号 8200 URL <https://www.ringerhut.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐々野 諸延  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理担当 (氏名) 峰松 浩一 TEL 03-5745-8611  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年2月期第1四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	11,114	6.4	397	5.7	458	50.5	321	58.3
2025年2月期第1四半期	10,441	6.4	375	98.2	304	52.3	203	114.7

（注）包括利益 2026年2月期第1四半期 300百万円（29.0%） 2025年2月期第1四半期 233百万円（281.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	12.40	—
2025年2月期第1四半期	7.84	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期第1四半期	30,689	13,766	44.9	531.27
2025年2月期	29,204	13,647	46.7	526.68

（参考）自己資本 2026年2月期第1四半期 13,766百万円 2025年2月期 13,647百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	5.00	—	7.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	21,950	3.4	400	△43.2	350	△41.2	220	△32.7	8.49
通期	45,500	3.9	1,700	0.4	1,600	1.1	1,000	3.3	38.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年2月期1Q	26,067,972株	2025年2月期	26,067,972株
2026年2月期1Q	155,493株	2025年2月期	156,183株
2026年2月期1Q	25,912,144株	2025年2月期1Q	25,909,391株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 本資料のサマリー情報、【添付資料】「経営成績に関する説明」及び「セグメント情報等」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、高い賃上げ率による所得環境の改善が行なわれている一方、緩やかに回復傾向にあった個人消費は伸び悩んでいる状況が見られます。また、円安や物価高の影響、不安定な国際情勢により先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、行動制限緩和による外食機会の増加や外国人観光客の増加によるインバウンド需要の高まりに伴い、来店客数は順調に回復しておりますが、原材料費・光熱費の高騰や継続的な採用難など、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループは国産野菜の使用など、食の「安全・安心・健康」に継続して取り組むとともに、『全員参加で、成長へのアクセルを踏み込もう』をスローガンに、企業価値向上に努めてまいりました。また、店舗での電力・動力・ガスの使用量前年比3%削減を目標とする省エネ活動「リンガーチャレンジ2030」を引き続き実施し、温室効果ガス削減に向けて取り組んでおります。

当社グループは、誰もが自分らしく安心して働ける職場環境の構築を目指して、「カスタマーハラスメントに対する方針」を策定いたしました。2025年3月より従業員向けの研修を開始しています。引き続き、全てのお客さまに安全・安心な商品と心のこもったサービスを提供できるよう、誠実なお客さま対応・お客さまとの関係づくりに努めてまいります。

出退店につきましては、4店舗を出店し2店舗を退店した結果、当第1四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内635店舗、海外13店舗の計648店舗（うちフランチャイズ店舗155店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は111億14百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は3億97百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益は4億58百万円（前年同期比50.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億21百万円（前年同期比58.3%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### （長崎ちゃんぽん事業）

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、初の試みとして夏の定番である冷やし商品を3月より販売開始し、お客様から根強い人気がある「冷やしちゃんぽん麻婆茄子」・「梅肉と鶏むね肉の冷やしまぜめん」を全国で販売いたしました。また、東日本エリアでは「からまろちゃんぽん」、西日本エリアでは「夏辛ちゃんぽん」とエリア別で辛みが特徴の温かい商品を販売いたしました。

出退店につきましては、3店舗を出店し1店舗を退店した結果、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で551店舗、海外で10店舗、合計561店舗（うちフランチャイズ店舗138店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は106.3%となり、売上高は90億90百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は3億39百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

#### （とんかつ事業）

「とんかつ濱かつ」では、季節商品として「アスパラと大葉重ねかつ」の御膳3種類とランチメニュー1種類を販売いたしました。こちらの商品は、国産のアスパラガスのフライと人気商品の重ねかつに大葉が入った商品となっており、多くのお客様から好評をいただきました。5月下旬からは「夏のあじ巻」をはじめとした梅おろしで味わうメニューを期間限定で販売しております。「夏のあじ巻」は、長崎県産のふっくらとしたあじに、和歌山県産の南高梅と青しそを巻いた酸味が溢れる味わいが特徴の商品となっております。

出退店につきましては、1店舗を出店し1店舗を退店した結果、当第1半期連結累計期間末の店舗数は国内で84店舗\*、海外で3店舗、合計87店舗（うちフランチャイズ店舗17店舗）となりました。（\*和食業態の長崎卓袱浜勝を含む）

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は102.1%となり、売上高は19億73百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は54百万円（前年同期比31.1%減）となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業内容であり、当第1四半期連結累計期間の売上高は、4億63百万円(前年同期比15.2%増)、営業利益50百万円(前年同期比27.4%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億85百万円増加し306億89百万円となりました。これは主に長期借入金の新規借入により現金及び預金が9億46百万円増加したこと、当第1四半期連結会計期間末が土曜日だったことによる債権回収の後ろ倒しのため売掛金及び未収入金が5億11百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ13億66百万円増加し169億23百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことが19億74百万円増加したこと、短期借入金が増加したことが9億円減少したこと及び当第1四半期連結会計期間末が土曜日だったことにより社会保険料等の納付のため未払費用が4億98百万円が後ろ倒しとなったことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ1億19百万円増加し137億66百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことに伴って1億38百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月11日に発表した前回予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,257,906	3,204,469
売掛金	1,554,481	1,771,724
商品及び製品	209,205	258,414
仕掛品	66,306	61,326
原材料及び貯蔵品	342,186	358,634
前払費用	275,876	314,499
未収入金	718,314	1,012,778
その他	202,731	217,506
貸倒引当金	△70,501	△71,563
流動資産合計	5,556,507	7,127,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,683,298	9,712,808
機械装置及び運搬具（純額）	1,532,754	1,501,697
土地	5,811,467	5,811,467
リース資産（純額）	56,494	51,404
建設仮勘定	137,454	32,555
その他（純額）	1,063,561	1,090,261
有形固定資産合計	18,285,031	18,200,195
無形固定資産	401,013	382,035
投資その他の資産		
投資有価証券	933,001	981,316
繰延税金資産	575,368	559,724
退職給付に係る資産	92,718	93,591
差入保証金	832,607	825,935
建設協力金	48,977	47,347
敷金	2,254,363	2,273,343
その他	224,473	198,436
投資その他の資産合計	4,961,510	4,979,694
固定資産合計	23,647,555	23,561,926
資産合計	29,204,063	30,689,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	914,080	869,133
短期借入金	900,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,250,452	2,425,190
リース債務	64,960	60,422
未払金	696,883	581,200
未払費用	1,308,079	1,806,768
未払法人税等	318,031	129,136
未払消費税等	396,850	421,833
株主優待引当金	99,467	88,873
店舗閉鎖損失引当金	3,350	3,350
資産除去債務	20,169	16,353
その他	547,642	526,222
流動負債合計	7,519,966	6,928,485
固定負債		
長期借入金	4,917,524	6,892,053
長期未払金	21,836	20,926
リース債務	128,605	119,434
株式給付引当金	117,818	116,592
退職給付に係る負債	1,055,320	1,064,383
長期預り保証金	296,367	287,367
資産除去債務	1,473,684	1,474,210
繰延税金負債	932	881
その他	24,806	18,783
固定負債合計	8,036,894	9,994,630
負債合計	15,556,861	16,923,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	2,193,474	2,193,474
利益剰余金	2,305,130	2,444,090
自己株式	△342,570	△341,344
株主資本合計	13,158,797	13,298,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477,590	507,892
為替換算調整勘定	△51,064	△98,233
退職給付に係る調整累計額	61,878	57,958
その他の包括利益累計額合計	488,404	467,617
純資産合計	13,647,202	13,766,600
負債純資産合計	29,204,063	30,689,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	10,233,947	10,906,305
売上原価	3,454,696	3,855,795
売上総利益	6,779,251	7,050,510
その他の営業収入	207,599	207,873
営業総利益	6,986,850	7,258,383
販売費及び一般管理費	6,611,103	6,861,095
営業利益	375,747	397,288
営業外収益		
受取利息	1,532	1,492
受取配当金	388	438
為替差益	21,312	758
受取補償金	—	65,139
その他	6,609	38,271
営業外収益合計	29,842	106,102
営業外費用		
支払利息	70,359	28,819
リース解約損	2,751	1,317
支払手数料	21,536	10,842
その他	5,985	3,495
営業外費用合計	100,633	44,475
経常利益	304,956	458,915
特別利益		
投資有価証券売却益	32,899	—
特別利益合計	32,899	—
特別損失		
固定資産売却損	7,810	—
固定資産除却損	217	195
減損損失	31,400	28,188
特別損失合計	39,427	28,383
税金等調整前四半期純利益	298,428	430,531
法人税等	95,335	109,110
四半期純利益	203,092	321,421
親会社株主に帰属する四半期純利益	203,092	321,421

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	203,092	321,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,935	30,301
為替換算調整勘定	7,765	△47,168
退職給付に係る調整額	3,314	△3,920
その他の包括利益合計	30,014	△20,786
四半期包括利益	233,107	300,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,107	300,634

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	489,368千円	465,812千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年3月1日至2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注)3						
外部顧客への売上高	8,443,077	1,954,114	44,354	10,441,546	—	10,441,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	358,196	358,196	△358,196	—
計	8,443,077	1,954,114	402,550	10,799,742	△358,196	10,441,546
セグメント利益	303,080	79,443	39,689	422,213	△46,466	375,747

(注)1. セグメント利益の調整額△46,466千円には、セグメント間取引消去△23,231千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23,235千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中の減損損失の計上額は31,400千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年3月1日至2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注)3						
外部顧客への売上高	9,090,772	1,973,194	50,212	11,114,179	—	11,114,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	413,376	413,376	△413,376	—
計	9,090,772	1,973,194	463,588	11,527,555	△413,376	11,114,179
セグメント利益	339,637	54,718	50,553	444,908	△47,620	397,288

(注)1. セグメント利益の調整額△47,620千円には、セグメント間取引消去△24,262千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23,357千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中の減損損失の計上額は28,188千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、該当事項はありません。

## 3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぽん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2026年 2月期	売上高 (百万円)	7,509	2,051	9,560	1,789	414	2,203	765	45	12,575
第1四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	423	138	561	70	17	87	—	—	648
2025年 2月期	売上高 (百万円)	7,025	2,004	9,029	1,777	415	2,192	658	44	11,923
第1四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	425	140	565	69	17	86	—	—	651
対前年比率	売上高	106.9%	102.3%	105.9%	100.7%	99.8%	100.5%	116.3%	102.3%	105.5%
	店舗数	99.5%	98.6%	99.3%	101.4%	100.0%	101.2%	—	—	99.5%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粋比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。